

生活支援コーディネーター（SC）活動報告

令和2年度 7月～11月の報告

【重点目標について】

1 生活支援・介護予防サービスについての住民懇談会、情報交換

【状況】

- ・ 岡田もくせいハイツ自治会、県営寒川もくせいハイツ第二自治会関係は、資料2「岡田県営住宅地域における生活支援サービスについて」にて。
- ・ 寒川町シニアクラブ連合会（以下、「町シニア連」。）と情報交換を継続。

寒川町の地域包括ケアシステムにおける「介護予防・生活支援」において、『シニアクラブ・自治会・ボランティア』の記載があり、町シニア連はすでに各種の「介護予防・生活支援」に資する活動に取り組んでいます。原則的に、会員は60歳以上、ほとんどが高齢者（65歳以上）です。

現在、町内には15の単位老人クラブがあり、クラブごとに特色ある活動をしながらか、高齢者同士の仲間づくり、健康づくり、支え合いづくり、生きがづくり等をしており、新たに会員になることを希望した場合、15の単位クラブのいずれかに入会ができる仕組みになっています。

また、町シニア連の会員であれば参加ができる「健康体操」は、先生のご指導が素晴らしく、会員に好評です。コロナ禍でも、少人数、時間分散、換気徹底など行いながら実施しています。

理想としては、町内22自治会ごとに単位老人クラブが1つつあると、その自治会エリア内の高齢者の支え合いを、単位老人クラブの力を発揮してもらいながら、自治会と連携・協力し合うということができると思われます。（町シニア連内でも協議された経過あり。各種調整等を町シニア連事務局と共に行う。）

まずは、現在、町シニア連に取り組んでいる各種の魅力ある活動を、より多くの高齢者に知ってもらい、入会のきっかけとなるような広報活動を、老人福祉法や寒川町の地域包括ケアシステムを拠り所に、町としてもバックアップすることが必要と思います。誤解なきようにしなければいけないのは、このことは単なる町シニア連の会員増強の取り組みではないということです。寒川町における高齢者支援の1つの資源として町シニア連をとらえ、会員である住民の皆さんが高齢者同士の仲間づくり、支え合い、生きがづくりで役割を担い、寒川町の介護予防・生活支援に多大な影響をもたらすということです。

2 住民主体の通いの場を、地域に、少しずつ、増やす

→介護予防講師派遣事業および町内の地域集会所等を活用しながら、「身近な場所で、集まって、わいわい介護予防できる場所」を増やします。年度内に1か所以上を目標として取り組みます。通いの場では、お茶のみ、会話、体操、手作業・手仕事、農作業等々、そこに集まる住民の方が自分なりの楽しみ方、役割の発揮、生きがい・やりがいを感じながら活躍できるような内容づくりを意識する必要があります。また、高齢者だけをターゲットにするのではなく、いろんな方が参加できるような通いの場を通じ、地域共生社会の実感・実践を描くことにもつなげていきたいです。

【状況】

今年度、新たな通いの場の立ち上げについて話し合いを進めていく予定であった方が4名います。

・宮山のAさん(女性) ・倉見のMさん(女性) ・大曲のTさん(男性)
・一之宮のKさん(女性)

コロナの影響で、皆さん、今は話し合いに積極的に気持ちが向かない状況です。中にはご自身が抱える病気も気になって、より消極的というか、「今はまだやめておこう」という気持ちになっておられます。

よって、新たな通いの場の発足は、現時点ではありません。しかし、今後も、連絡を取り合うこと、また、コロナ禍でも工夫と配慮でサロンを再開した実践例を共有するなどして、新たな通いの場の立ち上げを応援していきます。コロナの状況を踏まえ支援にあたります。

コロナ禍で、「つながること、顔を見て話すことの大切さを痛感した」という実感の方が増えてきました。その気持ちを、ハード面・ソフト面から支え、不安なきようにお手伝いし、新たな通いの場の立ち上げに至ることが理想と思います。

3 「町内資源マップ」 作成と配布

→掲示のみだった資源マップを、個人が手元で見れて活用できる内容として作成、発行を進める。

「ご近所のたまり場マップ」(通いの場マップ) 配布用 作成と配布

～町資源マップ(全体)、公園マップ、介護保険事業所マップ

「私のゴミ出しカレンダー」(生活支援パンフ) 配布用 ※環境課と要協議

【状況】

上記、計画時点での**マップの発行は、コロナの影響を踏まえ、順番に発行することとしました**(前回会議にて承認済み)。

資料 1

マップを受け取る側の心情に配慮できるようにし、かつ、活用と行動につながるようにし、同時に配布する側にとっては、今の時期ならこのマップで大丈夫というタイミングでの発行に努めます。**まずは、「公園マップ」の発行からスタートします。**

資料3でご説明します。

【全体状況について（7月～11月）】

- ・7月、寒川町健康管理センター コロナ対策を行いながら、団体の利用再開
- ・7月、少しずつ、サロン再開の動きが出てくる。「どんなやり方で活動ができるか」の相談等を受ける。コロナについての警戒はそれぞれ皆さん意識しており、どう工夫して開催できるかのアイデアも出し合って、検討されていた。

- ・**町シニア連**は、各単位クラブは9月から再開予定（7月8月はマスクと暑さでの熱中症を警戒）。**今後、各種研修会を予定、活動の弾み・自信・継続の支えとなるように。**

→シニア連の体操、再開。参加者は、とにかく参加したい、との気持ちの人が多いそう。事務局は、高齢者目線のたくさんの配慮をされている。飲み物、参加者分け、密にならない等、コロナへの対応もしっかりしてくれていた。

※町シニア連の健康体操を民生委員高齢者部会に案内。町シニア連事務局より、「体験は1回だけ、見学はいつでも歓迎、体験を継続したいようであれば、今後の町シニア連と民生委員の関係づくりの視点から、会長会議で民生委員の健康体操への参加の特別枠をつくるよう相談することもできる」と前向きな声。

→小谷パールクラブ お助けマンサークル（送迎、ゴミ出し）取材、映画会のサポート

→清川村へ「ぷらっとGo!」の情報収集にSCも参加

→地域福祉活動と個人情報保護についての勉強会

→フレイル予防と健康体操の勉強会

→道路運送法と住民主体の移動支援についての勉強会

※フレイル予防と健康体操を全町に広める取り組みが、喫緊の課題となっている。

資料 1

・子ども食堂2ヶ所、①コロナ対策をしながらの食堂形式、②弁当配布形式、2つの方法で活動を再開。**活動再開は、活動に協力するメンバー(高齢者も多い)の気持ちや体調に、プラスのエネルギーとなっている。**

→「久しぶりに子どものための工作のサポートをして、自身の心身の体調不良が改善」

→子どものために、安心・安全な食事、お弁当を用意しようという気持ち、行動、一体感、協力、自身のやりがい

・**高齢+精神障がい**のひとり暮らし**高齢者**、家族との関係も悪く、自身の住まい探しに苦しんでいる。

→他市のワンストップ相談窓口

→町内の不動産屋さんのご理解

・町役場の**保険年金課・高齢介護課・健康スポーツ課**が一体となって「**高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業**」に取り組むこととなり、**継続的な関わりがもてる通いの場を調整**。通いの場での高齢者向けの保健指導の取り組みについて、受け入れを打診。まずは通いの場の見学から開始、SCも同行。

→寒川町赤十字奉仕団 いきいきサロン（奇数月：北部、偶数月：南部）

→田端高砂会

→高齢介護課が「元気はっけん広場（在宅版）」をPR。参加申し込みあり。参加者から好評の声。

・**あかとんぼ会(認知症の方との話し相手や散歩の付き添い等)**の活動を、再度、始められるかの話し合い。

→結論：難しい。ボランティアポイントの開始が大きな分岐点、活動終了を考える引き金となってしまった。皆さんのボランティア活動に対する気持ちが戻るのは、簡単ではない。

※既存のボランティアグループに、ボランティアポイントの仕組みを有効活用できるように、もっと、配慮と調整が必要だった。

・**新橋アパート自治会**、たくさんの心配な世帯がある。外国人も増えてきていて、ルールを守らず、困っている。障がいのある子どもを抱える世帯もいる。

・**元気はっけん広場**に参加していた2人の女性、町健康管理センターに来所、多目的ホールの前のベンチで座っている。「**眺めに来たのよ、もう半年も体操がないし。この部屋にしょっちゅう来ていたのにね。**」と。散歩の途中に寄ってくれたそう。

資料 1

・ **マスクの箱**を通じて、いろいろな方が交流

→手作りマスクを作ってきてくれる方、「孫のために」と嬉しそうに子ども用のマスクを選ぶ方、**孫を想う高齢者の気持ち、行動は、ご自身の笑顔、元気にもなっている様子。**

・ **社協ボランティアセンター ボランティア体験会 オンラインで開始**

→Z o o mでの研修、会議も増加

→通いの場、サロンの開催方法に取り入れることはできるか

・ **地域ケア会議(個別会議)**出席から見えてくるもの

→施設から外出ができない高齢者、囲碁や将棋の相手をボランティア対応で、と思っても、今はコロナでボランティア受け入れ中止。

→ケアマネさんの関わりの細やかさ（虚弱体質の改善のために）

→無年金の父親の介護を、低所得の子どもが担い、逼迫している状況

→老々介護

・ **彼岸花まつり**の案内が届く

→大蔵など、地元の方が、高齢者世代の方を中心に頑張ってくださっている

・ **北部公民館主催「シニアクラス」**

→リタイア後の寒川町での生活を、もっと楽しくするために

受講者は、学ぶ喜びと充実感、楽しさを実感しながら参加されている様子

※高齢者向けの資源の1つ。

・ 実習指導を通じ、S Cの役割を再認識するとともに、S Cをどう伝えていけるのか、考える機会をもらう。

・ **障がい者スポーツ「ローリングバレーボール」**のクラブチーム、サムライ寒川の役員会に実習生と参加。コロナで年内の練習中止が決まる。年明け、2月7日(日)から再開予定。**チームには、高齢者、疾患ありの高齢者、障がい者が所属。慎重にならざるを得ない状況があった。**

・ **一之宮あつまろうサロン**のプログラムの相談で、サロンの役員さんと話す。

→秋は親睦のための行事が多数ある時期なのに、**今年度の今までも、今後も、集まりの場の開催が見通しが見つからない。何かできることはないか。**

→戸別訪問、お手紙、交換日記、少人数での茶話会（飲み物は個別のペットボト

資料 1

ルで)等、コロナ禍での活動例を情報提供

→**敬老の日のお祝いの品**として、お手紙とお赤飯と町のゴミ袋をセットにし、サロンの役員さんが手分けをして、サロン参加者宅を訪問し、直接、**顔を見ての手渡し**。「久しぶり」「嬉しい」「サロン再開まで元気でね」等、笑顔が絶えない。

・一之宮北フレンド 再開
(個別包装の茶菓子、ペットボトルの飲み物、昼食は帰りに弁当を配布)

・赤十字奉仕団いきいきサロン 再開 (同上+体を動かすことを中心に)

・寒川町シルバー人材センターの新規会員説明会に参加する

※高齢者の仕事、社会参加、生きがいつくり、資源の詳細を知るために

・寒川町秋季慰霊祭で、寒川町仏教会のお寺さんにお供物の余剰分を**地域福祉のために**ご寄付いただき、活用したい旨のご相談。物資の保管場所、仕分け、配分等、町社協には専属のスタッフはいない状況。

→高齢者の力を活かせるか

・湘南さむかわ I R O I R O 歌おう会 再開 (フェイスシールド、マスク)

・10月1日から、町役場に「おくやみコーナー」開設

※**超高齢社会**を迎えている寒川町において、**家族の死後のこと**をまとめて相談できる窓口の設置は大変ありがたいこと。

・寒川町ふれあい福祉フェスティバル中止

→昨年は台風で中止、今年はコロナで中止、2年連続の中止となってしまった。

このフェスティバルは、**出店する団体に元気高齢者が多数いて、出店団体一丸となつての手作りのフェスティバルを、町社協と一緒に最大限に盛り上げてくださっている。また、来場される方にも多くの高齢者がおり、のんびりとした雰囲気の中、くつろげる、居心地のよいフェスティバルとして、好評**をいただいている。出店団体同士も、出店団体と来場者も、楽しく交流しながら、寒川町の福祉を知る、つながる、支える、広める、大切な機会になっている。

コロナで相次ぐイベントの中止は、確実に、高齢者のエネルギーを奪っている。

「コロナでもできること」を、やっていかねばならない。

・ソフィア椿の花サロン、役員会に参加

資料 1

→コロナの影響によるサロンの開催中止を継続することを決定。
→絶対に自分がコロナに感染するわけにはいかない（職場、家族の仕事、介護）

・寒川町地域包括支援センター 南部相談室を広報用に取材

・県社協との懇談会

→社協ならではの相談は、個別支援と地域支援の両輪型

→生活支援コーディネーター業務も同様

・田端高砂会

→「歌って回想健康法」の講師が、急遽、来れなくなり、「歌う」ということだけをサポート。

→「**自分たちが、歌って回想健康法を身に着けて、自分たちで集まりの中でやれるようにすればいい**」と積極的な田端の方々。

※内容的には、通いの場におけるプログラムとしては、関心が高い、好きな人が多いもの。寒川町で「歌って回想健康法」の提供者になるための講習会を実施して、地域のたくさんの通いの場に広めていくのも良い。

・ふれあいサロン絆くらみ、再開

（倉見神社の御朱印配布と集合写真、検温、血圧測定）

・福祉有償運送 運転者講習会

※移動に困難を抱える高齢者の移動手段の1つである福祉有償運送

・ヤクルトさんの寒川営業所にて、認知症サポーター養成講座

※認知症を、住民、企業、みんなと一緒にあって見守れる体制づくり

・さむかわ中央公園、朝6時30分からのラジオ体操

→ウォーキング+ラジオ体操+ウォーキング

→ウォーキング+ラジオ体操+歌う+缶コーヒーで団らん 等々

※**高齢のひとり暮らしの男性「ここでの出会いが、今の自分をすごく助けてくれている。人とのつながりを大切にしなければ、本当に参加して良かった。」**

※ラジオ体操を中心、そこに集まる人の、ゆるい一体感が心地よい。

※**フレイルを脱却するために、ラジオ体操と公園マップを組み合わせ、呼びかけか。**

・新町新生会 映画会 再開 （検温、マスク、換気）